



『イエスとともに・イエスのように生きる』(変化と回復の黄金律) 説教者:鄭南哲牧師

聖書箇所:ローマ人への手紙6章6-8節・ガラテヤ人への手紙2章19-20節 (Rev.Jung nam-chul)

6私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだは滅ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。7死んだ者は、罪から解放されているのです。8私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることにもなる、と私たちは信じています。(ローマ人への手紙6章6-8節)

19しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。20もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。)(ガラテヤ人への手紙2:19-20)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

2019年以来、中国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルス(WHO では2020年2月11日:Corona Virus Disease2019(COVID-19)公式ウイルス名を名付ける)が発病して以来、短期間で急速に全世界に広がってしまい、3ヵ月後、2020年3月11日、WHO(世界保健機関;World Health Organization)では、コロナウイルスの「パンデミック(世界大流行)」が宣言され、大変な長い3年間のコロナ禍のトンネルを通過して、ようやく全世界も日本もポスト(post)コロナ時代を迎えています。

コロナ禍 3年目の大変な一年の中にあっても、神のご栄光のため、主の教会のため、小さな命や一人の尊い魂への愛と救いの為、愛の労苦を惜しまなかった教会の信仰の家族の皆様にご心から感謝を申し上げます。22年度今日まで、教会の役員、会計、毎週の牧者、アワナの先生たち、講壇のお花飾り、教会堂の掃除と礼拝のご奉仕に至るまで、心を尽くし、力を尽くしてともにキリストの愛を持って仕え続け、キリストの御体なる教会をたてあげて下さった教会の信仰の家族みなさんお一人お一人の尊い存在と献身に頭が下がります。もう一度心から感謝致します！どうか教会のかしらなる主イエスキリストの豊かな恩寵と大いなる天の報いと労いがみなさんとご家族の上に豊かに溢れますように切にお祈り申し上げます！「むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分がその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることとなります。(エペソ人への手紙4章15-16節)」アーメン！

<1. 一年間(22年度)を振り返りつつ>

2022年度一年間、我らは教会の目指す標題として、ホセア書(ホセア書6章1節~3節(旧約聖書))を元にし、《変化と回復》というテーマを決め、目指して来ました。人生の実際の新しい変化と回復を経験するのは、必死に頑張る人の努力によるのでも、いきなりできることで実現出来ることではありません。

コロナ時代と比べられないほど、混雑と不安、恐れる時代だった紀元前8世紀、詳しくは BC755年~720年までの北イスラエル王国では、後紀元前722年にアッシリア帝国によって北イスラエルの首都サマリアが完全に陥落され、滅ぼされる直前の時代と状況の中で働き、用いられていた神の預言者ホセアがいました。神様はそのホセア預言者を通して、人生の中で、真の回復と変化をもたらすために、どうするべきなのか、ホセア書6章中ではこう書かれていました。

1節「さあ、主に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、癒やし、私たちが打ったが、また、包んでくださるからだ」、2節に、「主は二日の後に私たちを生き返らせ、三日目に立ち上がらせてくださる。私たちは御前に生きる。」

この御言葉の意味は、神の回復の即刻(そっこく)な、迅速(じんそく)な神の赦しと癒し、回復と変化をもたらすことを約束された内容です。3節の後半では、「私たちは知ろう。主を知ることを切に追い求めよう。主は暁のように現れ、大雨のように私たちのところに來られる地を潤す、後の雨のように。」と。いくら今の状況が真夜中のように暗くても、夜明け(よあけ)がかならず来るように、主も必ず來られ、毎年、地を潤すために降らせる雨のように、神は神に立ち返る全ての者たちに、かならず具体的に助け、潤おうさせ、必要を満たして下さるといふ御約束の御言葉でした。

その神の御約束の御言葉をともに握りしめ、具体的には、まず、①我らの信仰の回復(神中心・聖書と祈り中心・教会中心)を目指す②聖書的価値観の回復を目指す③キリスト者の生き方と関係の回復目指ししながら歩んで来た22年度でした。

一年間我らの教会は、コロナ禍が続く中でも、ともに一年間信仰の回復を目指し、日々御言葉を黙想する方々が増え、聖書価値観の学びや聖書通読クラスを通して、御言葉に立ち返り、学び続けて来ました。また、コロナ禍の中であっても、教会や牧場でともに集まり続け大事に保って来られたことを感謝します。

また、3年間のコロナ禍の中、クリスチャンプレイズチャーチを振り返って見れば、他の教会が持ってない、キリストの愛を惜しまずに実践し、分かち合ってきた教会家族であると信じます。コロナに感染されたり、悩み、苦しんでいる教会家族をいたし、ほったらかせず、共に顧み見ながら、躊躇せず、惜しみなくともに支え合い、助け合ってきたと信じます。

教会の会計の赤字の中でも、我らの教会含めて、東海西と東宣教区の教会がともに三重鈴鹿市に開拓した「いこいのある教会」に宣教献金を捧げ続け、教会設立19周年10月には、鹿児島にある開拓教会の支援の為に、バザー一会を開いたり、献金して送ったり、また、我らの宣教区の教会がともに力を合わせて開拓をした、鈴鹿市にあるいこいのある教会の為に我らの献金の中で、よく支援し続けて来ました。また、各牧場でもいろいろな宣教の地に祈りとともに、支援を続けているでしょう。ウクライナの戦争の中断と平和のために、トルコのために、特別祈り続けて来ました。近くあれ遠くあれ、キリストを信じる者として、キリストの愛と恵みの香りを放ちながら、共に歩んで来られた神の恵みとCPC家族みなさんの尊い献身に心から感謝いたします。

<2. 真の変化と回復は？>

聖書には様々な関係による例が数多く出ているし、増してどうやって関係が回復されていくのかその方法までちゃんと書かれています。ウィリアム・ヒルという聖書学者は新約聖書の中、黙示録をのぞいた7546節の中1906節がまさに人間関係による葛藤をあつかっているのだと主張した事があります。つまり新約聖書の40%が様々な人間関係について語っているということです。みなさんは最近どんな良い変化を期待していますか。ある人との関係の回復、家の家族との関係の回復、教会家族との関係の回復などはどこからはじまると思いますか。

結論的な聖書の御教えをまとめて言いますと、関係の新たな変化と回復は、まず自分自身から変わらなければならないこと、自分の変化と回復が自分の志や力ではなく、イエスキリストによるのであることを明らかに教えて下さっています。

<①まず自分の変化と回復が始まりである>

愛する信仰の家族のみなさん!私たちが実は、いつも自分より相手が問題だと考え込んでいる時がよくありませんか。自分より相手のことばかり変わることを願う時が多くありませんか。私自身も同じです！私の妻が、私の子供たちがこういうふうに変わってほしい、私たちの教会があのように変わってほしい、周りがこう変わってほしいと、たえず思い込んでいる時がよくあります。きっとみなさんの中でも自分の家庭が、自分の子供が、教会が、周りの人々がこのように変わってほしいと願った方がいると思います。しかし、自分より相手ばかり向いている我らに、聖書では、他人ではなく、あなた自分自身からまず変わらなければならないのだと教えて下さっています。自分自身は変わらないまま、自分自身は変えられようと努力しないで、自分の回りや他人の変化を期待し祈ることは決して神様が聖書を通して教え、望んでおられる姿ではないことを大切に教えて下さっています。

聖書が教えて下さる正しいの信仰の姿と他の占いなどとの違いは何だと思いませんか。占いは自分のお金を出して、神のころを自身が願っている通り、期待している通り、動かし自分が祝福されたがります。しかし、聖書はこのような人を‘クリスチャン、つまり、信仰ある者’だと言いません。聖書が教えて下さっている真の信仰の姿は何ですか。それは簡単でとてもシンプルです！それは聖書で書かれ、教えられている通り、神様が望んでおられる通りに従って自分を変えることです！神の御心に従って、自分を変えて行く事こそ、真の信仰生活の姿ではないでしょうか。

神の御前で正しいの信仰の姿は神様の願われている通りに自分が従って変わっていくために、絶えず主に自分を明け渡し、委ねて行きます。

マタイの福音書 7章12節にイエスキリストは、人の関係の変化と回復のためには、必須不可欠な大切な御言葉であり、この箇所を黄金律(Golden Rule)だと言われています。「ですから、人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。これが律法と預言者です。」

ここで律法と預言者だということは旧約全体を意味します。新約聖書を読む時、律法と預言者という単語が出て来ると‘あ、これは旧約聖書の御言葉を言っている言葉なんだ’と理解してもおかしくはないと思います。

ですから今日の本文の御言葉つまり、何事でも自分にしてもらいたい(変化と回復)ことがあれば、あなた自身が相手の人にそのようにしてあげる(自分の変化と回復)こと！これが旧約全体をまとめる関係を守る、全ての関係を回復させる大原則だと教えて下さっています。

短いこの主の御言葉には、何よりもすべての関係が守られ、回復されるために、他の人にしてもらう変化を期待し、願う前に、まず自分が変わって願い事、期待している事を他人にそのようにすることを教えて下さっているのです。まとめると、他人の変化を期待する前に、自分が自らの態度、姿勢、行いの変化が先であり、大切だという意味ではないでしょうか。全ての変化と関係の回復への聖書の原則と神の知恵を一言で言うと“他人と関係の新たな変化と回復は、他人によるのではなく、自分自身の変化による、自分にその鍵があるよ。”という内容であります。

最近みなさんは、夫に、妻に、子どもに、親に、牧場の家族に、牧師に、牧者に、教会家族にどうしてもらいたいですか。そのような関係の回復と新たな変化を願うなら、自分がまずそのように変わって行くことが目玉であり、核心であることを覚えて行きましょう。

<②自分の変化と回復:自分の力ではなく、イエスキリストによる!>

今日の本文、ローマ人への手紙6章6・8節「6私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。8私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることに成る、と私たちは信じています。」

ガラテヤ人への手紙2章19-20節「私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。」

我ら自分自身がどうすれば、神様の願われる通に自身を変えることが出来るでしょうか。

一言でまとめると、「イエスキリストと一つになる」ことです。

イエスキリストと一つになるということは、イエスキリストを自分の心に受け入れ信じることです。今、みなさんはイエスキリストをご自身のまことの救い主として受け入れていらっしゃいますか。イエス様を信じることは、まず、イエスキリストを自分の救い主(自分の全ての罪を赦し、新しくきよめ、神の永遠の命を与えて救われるお方として)受け入れることです。そして、イエスキリストを受け入れ信じるということは古い罪の中の自分が死ぬことだと教えて下さっています。

「19私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。」

ローマ人への手紙6章6・8節「6私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。8私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることに成る」と約束されています。

イエス様は我々の全ての罪赦しのために、すべての罪を背負い、十字架にかかって死んで下さったように、我々も十字架に自分自身を死なせることです！誤解しないで下さい。ここで死ぬことというのは実際死ぬとか、自殺をするみたいな事では決してありません！

ここで、自分を十字架で死なせるという意味は、自分を苦しめた古い自分の姿と生き方、古い価値観、自分の淫乱な思い、変わろうともしない頑なな自分の心、固執とくせ、絶え続く自分の欲張り、罪の欲望と習慣などを完全に殺す、捨てるという意味であります。そして、受け入れ、内住されておられるイエスキリストに明け渡し、委ねれば委ねるほど、自分の中にある罪

のくせ、縛り、罪の奴隷と鎖の痛みから解放され、自由になれます！

キリストイエスにあって古いものが過ぎ去って新しい自分、主が望み喜ばれる新しい生き方に変えられて行けます。

「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(コリント人への手紙第二5章17節)

この御言葉の意味は何ですか。**結局のところ、人が古い自分、罪の中の自分を変えられるためには、ただの自分の決断、努力によるのではなく、イエス・キリストを受け入れ、イエスキリストの命と力によって自分を変えられ、キリストにあって新しく生けることになれる**ことを明らかに教えて下さっています。

残念ながら、**わたくし自身を見ても、他の人々を見ても、人はなかなか自分を変えようとしません。**

しかし、**イエスキリストを受け入れ、信じることによって、これからは自分のうちに内主されておられる聖霊の神が絶え続き戻ろうとする以前の古い自分！罪の自我本能には死なせ、これから主なるキリストが死からよみがえられたように、我らの自分の人生も変えさせ、新しい人生の生き方に導いてくださると約束されているのです。**

以前、知り合いの韓国で脳神経学科の博士のクリスチャンの執事さんにとっても面白い話を聞いたことがあります。人間の脳には、およそ 6 兆(ちょう)~100 兆の細胞があると言われていています。この脳細胞は短ければ2-3時間内に死ぬそうです。ところがこの脳の細胞が死ぬと、かならず新しい細胞が造られます。しかし、この脳の細胞はストレスを受けると反乱を起こし、死ぬべき細胞が死ななければ、大変な問題を起こすようになる。その死ぬべき細胞が生き残るとかえって悪影響を与えますが、その細胞を医学的に一般的によく言われているのが、癌細胞だと言われました。

今日の御言葉の内容をととても分かりやすくさせてくれるたとえ話ではありませんか。**信仰の原則も同じです！**

主にあって死ななければならぬ古い、かたくなな自分自身が生き残ろうとすると、よりキリストにある新しく豊かな人生として歩める事を妨げられるようになる事を覚えておきたいと思います。結局、様々な問題の解決は他人とか、周りの環境でもなく、キリストイエスにあってどれほど古い自分が変わって行くのかが、関係を回復させる核心であります！

イエスキリストが全ての罪に対して十字架で死んで下さったように、イエスキリストを主として受け入れた者は、これからイエス・キリストにあって、日々イエスキリストとともに歩みながら、信じる前の古い自分には死んで、捨てる！このことがなければ、また必ず、過去の罪の中、いやがり、苦しめた古い自分の姿にまた戻り、新しく変わることは決して出来なくなるのではないのでしょうか。みなさんはいかがでしょう。

その意味で、その使徒パウロもこのように告白しました。**第一コリント人への手紙 15 章 31 節「わたしは日々死んでいるのです！」**と。

<3. 23年度の新たな教会標語： イエスとともに生きる・イエスのように生きる！>

来週4月から始まる23年度は我らにとって新しく特別な一年です！日本と全世界が、3年間のパンデミックのコロナ禍を乗り越え、新しいポストコロナ時代の幕が上がっています。コロナウイルスが残っているものの、これからインフルみたいに、季節の風邪のような種類となり、ずっと付き合っている環境となるでしょう。すでに海外では進んで、マスクなしの生活が進み、日本もマスク自由の生活が始まっています。3年ぶりにコロナ以前のような生活となります。

また、我らの教会としては、23年度10月になると、クリスチャンプレイズチャーチ設立20周年を迎える特別な年です。2003年10月に、鄭牧師が赴任され、正式に始まったクリスチャンプレイズチャーチの20年間の歩みを振り返りつつ、あふれるばかり神様に感謝しつつ、教会家族とその感謝と愛を分かち合って歩みたいと願います。そして、20歳を迎えるクリスチャンプレイズチャーチの我らが、霊的にも一層成長し、成熟され、神様が喜ばれ、望んでおられる御心を知り、喜んで従っていく一年となるよう祈りたいと願っています。

神の御前で、この特別な一年として、祈りつつ、共に目指して歩みたい教会の標語は、**「イエスとともに生きる・イエスのように**

生きる((Let's walk with Jesus & live like Jesus))というスローガンです！

実践事項として、①イエスのように神と人を愛する関係の中で生きる(愛の関係中生活)こと、②イエスのように日々神の御言葉にとどまる(御言葉中心生活)、③イエスのように日々祈りを通して神と交わる(祈り中心生活)、④イエスのように神の栄光と使命に生きる(福音宣教と賜物を生かす生活)ことをともに目指して歩みたいと願います。

ナサニエル・ホーソーン(Nathaniel Hawthorne)という有名なアメリカの作家が書いた本の中「大いなる岩の顔 The Great Stone Face」という本があります。ある田舎の小さな山間の町には、岩山に穏やかなで偉大な人の顔に似た巨大な岩がありました。先祖のものか、先住民の物語かも定かでないほど古い言い伝えに、「岩山の顔と同じ顔の人物が世界を良くするためにやってくる」とある。これを聞いたアネストという少年は、毎日、その山の人の顔の岩を見上げながら、声をかけ、その人物がいつ、どのように実際現れるのか楽しみにしながら、懸命に働き、毎日顔を見上げてより良き人物とその知恵について考え、伝説の人物を待ち続けながら成長しました。しかし、そのうちに町の出身の成功した3人(金持ち、戦争で勝利した軍人、有名な政治家)が町に戻って来ましたが、だれもあの岩山の巨大で偉大な顔に似てませんでした。ただ伝説の物語で終わると思ったところ、町の人たちを見ると、アネストの顔が、あの岩山の偉大な顔の岩とそっくりで、似ていたその主人公であることに気づいたという話です。

我らもこれから、実際日タイエスキリストとともに交わり、キリストを見上げ、キリストとともに歩んでいるうちに、いつのまにか、我らが知らないうちに、イエスキリストの人格、イエスキリストの品性、イエスキリストの愛と平和が、我らを通して、現わされ、流されると信じます！我らが変わり、回復されるためには、日々、イエスキリストと交わり、見上げて、キリストとともに歩むことにより、自然に我らの罪ある古い姿が脱ぎ捨てられ、イエスキリストのように変わると信じます。真のイエスの弟子たちとなり、イエスのように生きる者になる道はそれしかないのではありませんか。それが一番近道だと信じます。

今までCPC家族のみなさんは、すでに日タイエス・キリストともに人生を歩み、イエス・キリストのような生き方を保っておられますが、新しい時代、特別な年を迎えながら、コロナ禍の中で萎縮されていた我らの信仰を奮い立たせ、積極的に、実践的にキリストイエスにあって、キリストイエスとともに、キリストイエスのように実際生きる特別な祝福の一年となるように祈っています。そうするために、選んだ御言葉が、下の御言葉です。

ローマ人への手紙6章6・8節「6私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだは滅ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。8私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることに成る、と私たちは信じています。」

ガラテヤ人への手紙2章19-20節「私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。」

キリストを信じた者は、みな過去罪の中にあつた古い自分を捨てて、キリストイエスにあってすでに新しく変わった者たちです！ですから、これから今もなお生きておられ、ともにおられるキリスト・イエスにあって、キリスト・イエスとともに日々歩めば、必ずキリストによる恵みと平和を体験しつつ、キリストのように生きることが出来るようになると思ひます。

特にこの一年は、より深く、イエスキリストにフォーカスを合わせながら、ともにイエスキリストはどんなお方であり、どのような姿を取り、どんな働きをなさったのか、イエスキリストが語り、教えて下さった御心は何だったのか、ともに聖書の御言葉を通して学びつつ、ともに実践して生きるうちに、真のイエスキリストの弟子としてともに熟され、小さなイエスとして一人一人が豊かに用いられる一年となる全クリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族となりますように祝福をお祈り申し上げます！アーメン！！

「私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。イエス・キリストに栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。」(ペテロの手紙第二 3 章 18 節) アーメン！

